



【第3回学校運営協議会】

平成31年2月15日（金）に第3回学校運営協議会を開催しました。
全体協議の前半は、今年度の振り返りと各ワーキンググループでの協議に基づき、次年度における学校の取組と学校運営協議会の年間計画について話し合いました。後半では、今年度の学校評価について、学校アンケート結果の分析と各分掌の取組について説明し、活発な意見交換が行われました。

1 日時・場所

平成31年2月15日（金） 午後2時30分から午後4時45分まで
矢島高等学校 大会議室

2 出席者

(1) 運営委員

大井 建史 【天寿酒造株式会社代表取締役社長】
庄司 嘉政 【元矢島高等学校PTA会長】
佐藤 和広 【矢島小・中学校運営協議会委員、元秋田県公立小・中学校長】
松田 訓 【本海獅子舞番楽伝承者協議会会長、矢島高等学校同窓会前会長】
佐藤 晃一 【由利本荘市教委CS協働コーディネーター、元矢島総合支所長】
小松 茂樹 【H29学校評議員、矢島高等学校同窓会前副会長】
菅原 賢一 【H29学校評議員、矢島小支援地域本部コーディネーター】
小松 和史 【H29学校評議員、矢島中学校PTA会員】
茂木 好文 【H29学校評議員、矢島高等学校同窓会長】
松田 孝志 【H30矢島高等学校PTA会長】
熊澤 耕生 【矢島高等学校長】

※ 真坂伸子委員、佐藤真理子委員は欠席

(2) 教育庁

佐藤 一喜 【秋田県教育委員会 CSアドバイザー】

(3) 矢島高等学校 [事務局]

佐々木 誠 【教頭】
高田宇一郎 【事務長】
猪股 秀明 【教諭】
石澤 宏基 【教諭】
辻 由紀子 【教諭】
菅原 一哉 【教諭】
土田 伸也 【教諭】
渡邊 舞子 【実習助手】

※学校評価より出席

木村ふさ子 【教諭】
尾留川 徹 【教諭】
靱山 英輝 【教諭】
佐藤 俊治 【教諭】
大石 敏孝 【教諭】

3 次第

- (1) 開会 (事務局 佐々木教頭)
- (2) 学校運営協議会会長あいさつ (大井会長)
- (3) 校長あいさつ
- (4) 出席者紹介
- (5) 協議(進行 大井会長)

①次年度の学校の取組について：熊澤校長

②次年度の協議会運営について：熊澤校長

協議内容は、「4 議事録」のとおり

(6) 秋田県教育委員会CSアドバイザーより感想

情報発信をフェイスブックとホームページを使うということは大変良いと感じた。ただ、学校の負担が増えるのが心配である。また、個人情報の関係で顔写真や名前の表記など気を配らなければならない。委員の方々への連絡もフェイスブックやショートメールなどで行うことができればいいのではないか。インターンシップについてだが、学校では企業に何をしてもらいたいか、何を体験させたいか、企業にとっては生徒がどう感想を持っているかが分からず形式的になっていると来年からコミュニティ・スクールが始まる大曲工業の委員から意見があった。企業に対し、何を体験させたいか生徒に何を味わわせたいのか学校がしっかり伝えていくことが重要である。熟議については、矢島高校がどんな学校を目指していくかということが議論の一番大きいテーマになってくるだろう。

(7) 学校評価

①各分掌の取組・学校アンケート結果の説明：佐々木教頭、各分掌主任

意見交換は、「5 議事録」のとおり

(8) 諸連絡

- ・学校評価用紙の提出について：佐々木教頭
- ・懇親会について：佐々木教頭

(9) 閉会 (事務局 佐々木教頭)

4 議事録

○次年度の学校の取組について

【運営委員】

ボランティア活動の宣伝についての提言はまさにそのとおりである。行政協力員連絡協議会の副会長をしている。毎年5月はじめに行われているが、行政からの連絡のあとに矢島高校からの取組の計画もPRできるのではないかと思う。

【校長】

本校のホームページをご覧になっていただけたか。ビジネスコースではフェイスブックも開設しており、ホームページからもアクセスできる。学校の様子や行事もリアルタイムで見ることができるので機会があればご覧いただきたい。

【運営委員】

当社でもフェイスブックを開設している。先日の酒蔵開放においてもお客さんにたくさん登録していただいた。顧客名簿と同じなので更新するたびに情報を流すことができ宣伝になる。

【運営委員】

菅原委員の意見に賛成です。鳥海地域・由利地域にも同様にPRすれば効果が高まる。来年の7月19日に、市内の中学2年生が集まって本荘由利地域の約30の企業とふれあう事業をナイスアリーナで実施予定である。このように市教委でもキャリア教育の深掘りをしていく計画である。今日の資料にもあるように、総合的な探究の時間を活用して高校の段階でのキャリア教育をさらに深掘りして特色をつくっていくことが求められる。地元の活躍している若手を活用し、講話を聞く機会を設けたらどうか。

【運営委員】

矢島高校のホームページやフェイスブックのQRコードを日新に掲載したらどうか。

○次年度の協議会運営について

【運営委員】

10年前の矢島小学校の運営協議会の熟議は、問題点の協議において、意見を簡単に記入して、同じような意見をまとめていった。

【運営委員】

小学校と中学校と合同で熟議を行った時もあった。運営協議会委員の他にPTAの役員や保護者、教員も入って5班ぐらいに別れて行った。基本的に発表者の意見を否定しないこととした。小学校の場合は、テーマを決めてそれに基づき様々な意見を出していき、付箋に記入していった。意見をグループ毎にまとめて集約し発表の場をつくった。年に1回ぐらいはやっていったが、去年は実施できなかった。

【校長】

熟議を実施する場合は、協議会でプロデュースしていただければありがたい。

【運営委員】

必ずしも熟議でなくても、形式的にならない話し合いはあると思う。発足したばかりなので、もう少し経ってから熟議を行うことでもいいと思う。いろんな意見を聞く今の形式でもよいのではないか。

【運営委員】

これからの学校をどうしたらよいかといった大きなテーマで意見をフリーに出してもらい、それをKJ法の処理で意見を集約し図式化する。この委員でもフリーにディスカッションすれば様々な意見がでるかもしれないが、もっと様々な人、例えば中学校の運営協議委員が入ったり、PTAの会合に合わせて事前に実施し意見を出し合うといった方法も有効だと思う。

【運営委員】

テーマを大きくするとまとまるのかという不安もある。WG2では意見がたくさんでたようなので、テーマを小さくするとまとまりやすくなり、多様な意見が取り入れやすい。

【CSアドバイザー】

熟議は、目指す学校像を地域の方々と連携してどのように生徒を育てていくかというところから始まった。少人数で集まっただけでできることではない。広範囲の方々から話しを聞きながら作り上げていく必要がある。ただ、いっぱい集まっても意見がまとまらないので、ワークショップ形式でグループに別れて意見を出し合い集約する。5、6人のグループでテーマに基づいて意見を付箋や模造紙に記入して、発表しながらひとつのものにまとめあげていく。矢島高校の学校運営協議会も今年スタートしたばかりなので、形式的になるのは仕方が無いことだ。これが2、3年経つともっといろんな取組があるのではないかと、保護者や地域の方がどう感じているのかと広げていくツールとして熟議やワークショップが有効となる。ゆり支援学校では、部会をワークショップ形式にしているところもある。来年の協議会ではまた違った意見や新しいアイデアがでてくるだろうし、協議会実施の前に矢島高校の特色ある学校づくりについて、保護者や矢島高原鉄道の関係者などに意見を求めることもいいのではないかと。鳥海中学校では熟議を実施する際は、地域の方々や保護者にも案内している。市教委に問い合わせただけであれば、熟議のやり方については助言できる。

【運営委員】

同じ方法でも新しい切り口がほしいといったときに熟議は有効なツールである。

【運営委員】

ひとつのテーマを掲げて議論し意見を集約し、学校運営に反映できるように工夫すればよい。

5 議事録

○学校評価にかかわる意見交換

【運営委員】

資格取得に関して、保護者と先生方との評価の差が大きいがどういった事が考えられるか。

【校長】

教頭在職時、学校評議員会においても話題となったが、評議員の一人が「保護者がイメージしている資格とは何かというのが分からない。」と発言された。職業によっては就職してから取得したほうがよい資格もあり、その前に取得した方がよい場合もある。そこでどういう意識なのかということ調べてみましょうということになったが、転勤となった。保護者と職員の意識のズレはまだ分かっていない状況であるので、次年度のアンケートを工夫するなどして調べたい。

【運営委員】

生徒が意欲を示さない。親にとっては金銭的に厳しいといった理由があるのだろうか。

【校長】

ビジネスコース、福祉コースで取得する資格も当然ある。そのコース以外の生徒はその資格を取得することができない。そのあたりを理解していない可能性もある。

【運営委員】

資格取得者や進学先は、どこに掲示しているのか。

【校長】

2階の職員室前廊下に掲示している。

【運営委員】

きめ細かな分析や考察など資料が素晴らしい。肯定的な評価、良くなっている評価が多く先生方の頑張りに敬意を表したい。ただ、肝心の生徒はどう評価しているのか気になった。自尊心、愛校心、意欲、問題要望などあると思う。新たに調査するのではなく、これまでの生徒指導や進路指導のアンケートにあるかもしれないので、それを資料に付け加えていただければありがたい。先生方の自由記述の中に前向きな意見が多かった。共通理解、共通認識、情報の共有化といったのがキーワードだ。日々のやらなければならない指導を積み重ねることが大事だといったことが記載されていて心強く思った。

【運営委員】

細かく整理、考察されている。保護者自由記述のなかで、「先生方が真摯に丁寧に向き合っていたに感謝している。」とある。大きなキーワードである。矢島高校に入学させてよかったかというアンケートも高い評価だが、その良かったこととは何なのかということをお返事してもらい矢島高校の強みにつなげてもらいたい。

【運営委員】

先日、部活動後援会の役員会があった。矢島高校の思いを話した保護者がいた。「入学させて良かった。子どもも親も楽しく過ごせた。」皆と仲良く楽しくやってこれたのだなと感じた。親も子どもも生活そのものが楽しく過ごす事は、とても大事なことだと思う。

【運営委員】

昔の学校設立のねらいは、地域への定住促進が主だった。地域の学校が無くなれば、将来町が無くなることにつながる。子どもたちにこの地域の良さを理解してもらい、学校と地域の存続につなげてもらいたい。

【WG1】

①「生徒数減少」と「教員数減少」という現状があり、新たな活動を増やすのではなく、「今やっていることを深化させる」方向にもっていくべき。

→*全校規模（学校行事）、学年規模（総学・地域学）、有志（ボランティア部、生徒会等）等の様々な形態毎にこれまでの取組を整理し、内容を検討する。

②本校の地域ボランティア活動については、もっと宣伝してよい。HPの大幅リニューアルは評価できる。

→*本校のボランティア活動の年間計画を作成する。年度初めに町内会長の集まるような場で、学校運営協議会から配布してもらえればありがたい。

*HPの更新については、ボランティアや学校行事の実施時期とリンクするようにあらかじめ計画しておき、ボランティア以外の内容も含めて更新回数の増加と内容の充実を図り、広報活動を充実させる。

【WG2】

①現在「地域学」で行っている「地域就業体験」と通常のインターンシップとの差別化をどう図るか。

→*「地域就業体験」のもともとの趣旨である「地域で働く人々の思いを聞く」に立ち返り、次年度の1年生から実施する「総合的な探究の時間」の中の「地域の大人に話を聞く（仮）」に統合する。1年次での実施もありうる。

※新学習指導要領（2022年度から）において「総合的な学習の時間」が「総合的な探究の時間」に変わることを受けて、従来の「総合的な学習の時間（鳥海総合）」（1～3年次）と「地域学」（2年次）の内容を統合して「総合的な探究の時間（名称未定）」（1～3年次）とする。現在カリキュラムを作成中。

※「総探」は移行措置として平成31年度新入生から開始。現行の「地域学」は現在の1年生が次年度に履修し、それが最後となる。

②「地域を思う人を知る」をもっと充実させたい

→*今年度は2回（「天寿」代表取締役社長、「本荘ハムフライ ハム民の会」代表）だったが、更に回数を増やしたい。

*講話をしてくれる人の候補についての情報を、学校運営協議会からもいただきたい。

③YBP（やしまブランディングプロジェクト）をもっと充実させたい

→*地元とのコラボが不可欠。商品開発で依頼する企業や農家の情報についてCSの情報網を活用したい。学校運営協議会からも情報提供いただければありがたい。

*「鳥海ダムカレー」については検討してみたい。

*ビジネス系列の生徒の授業の一環であるので、メインの活動に繋がる内容の授業時数を確保し、授業内容を充実させるとともに、土台となる地域理解の学習（「総合的な探究の時間」等）とリンクさせ、一過性の活動で終わらないようする。

*YBPを含むビジネス系列の教育内容を中学校側へきちんとPRする（福祉系列も）。

④「八朔祭」と関わりをもてないか

→*【WG1】①の内容を考慮し、参加は見送りたい。現在行っているボランティアの充実に力を注ぎたい。

【WG3】

①「番楽」についての学習を充実させたい

→*生徒、職員に本物を見せるために「まいーれ」を活用したいが、公演は休日のみなので日程調整が課題となる。「出校日となる休日（PTA総会等）に実施」「土日を出校日として授業と番楽見学を行い、月曜日を振休とする」等の形態を検討。

*鳥海教育学習課が窓口になってくれる。候補日を伝えれば、その日に公演可能かどうかを各団体に問い合わせしてくれる（1/29（火）「まいーれ」運営協議会の席で確認）。

*「総合的な探究の時間」の課題研究のテーマの一つとして検討する。全体を対象とした学習を行った後に、課題として選択したグループが、矢高祭等で演舞発表を行う。他にも次のような内容が考えられる。

- ・衣装や面等のデザイン（高校生の感覚で）
- ・番楽の魅力の発信

②鳥海ダムについての学習を取り入れてはどうか

→*来年度、可能であれば国交省の担当者による招聘講話を開催する。学校運営協議会に交渉窓口をお願いしたい。

*「総合的な探究の時間」の課題研究のテーマの一つとして検討する。

③地域学習の際に必要なバスの手配について

→*学校運営協議会から市教委にバス借用の交渉をしていただきたい。

2019年度 秋田県立矢島高等学校 学校運営協議会年間計画（案）

月	学校運営協議会・WG	学校
4		(下旬) ・運営協議会委員候補の略歴等を県教委に送付
5	(委員任命書の受領を受けて) 第1回学校運営協議会	・委員任命書を県教委から受領 *CS校内委員会(第1回に向けて)
6	・授業参観 ・委員任命、規約の確認 ・学校経営方針説明、承認 ・WG(協議内容の確認、スケジュール調整)	
7	各WG毎に ・協議 ・必要に応じて視察	*CS校内委員会(WGの論点確認)
8		
9	第2回学校運営協議会 ・各WGの協議内容を全体で共有 ・協議	*CS校内委員会(第2回に向けて)
10		
11	各WG毎に ・協議 ・必要に応じて視察	
12	・協議内容のまとめを学校側に提出	・WGの協議内容をもとに、次年度の取組について協議 ・学校評価アンケート結果を委員に送付
1		・協議会運営についてのアンケートを実施 ・次年度の協議会運営案を作成 *CS校内委員会(第3回に向けて)
2	第3回学校運営協議会 ・今年度の取組と協議会運営の評価 ・次年度の取組と協議会運営について ・学校評価	
3		

※WGは取組の検証とそれに基づく改善についての協議がメイン。委員による視察の状況や、学校側による取組の反省(振り返りアンケートが必要か?)等をもとに協議。